

西脇市保育士等キャリアアップ研修（幼児教育分野）

受講者感想（2023.10.19）

- どのクラスも子ども達が自分のしたいことを全力で取り組んでいたなと感じました。研修で学んだことをいかして、日々の保育につなげていきたいと思います。
- 午後からの参加でしたが、5歳児の先生方で集まり、1つの表を作り、一つ一つの写真に対して子どもの表情や気持ちを汲み取り、吹き出しに書いたり、10の姿と照らし合わせて書いていたため、どういう状況だったのかがすごく想像しやすく、私もこのような保育がしたいと思いました。
- 今日は、ごっこ遊びをメインに学びましたが、ごっこ遊びは知的な学びであり、想像力、表現力、社会性や自分の思い描く理想像まで養っているととても大切なものだと分かりました。遊びで培われる物事への探究心や好奇心などの意欲が、小学校以降にいけるのだと思いました。それらを支える一員になりたいです。
- 公開保育では、子ども達の考えた作品や、工夫された室内環境やドキュメンテーションを見せていただき、とても勉強になりました。私自身子ども達の興味のあることにしっかりと気づき、10の姿を考えながら子ども達がトキメキをもてるような保育を行えるよう頑張りたいと思います。
- 子ども達の活動に対し、主体性はもちろん、保育者の適切な声掛けや援助により、活動がより良いものになっていくことを改めて感じました。小学校へも園での活動と共に10の姿へのつながりを伝えることも大切だと思いました。
- トキメキ、ヒラメキ・イメージ、気づき、発見、できた。どのように遊んでいるのかをミクロに見て、遊びの過程を見ることが大切なのだと思いました。
- 午後の研修では比延こども園の先生方を中心に、ワークを進めたり、意見交換をすることで、色々な考えを知ることができました。子どもが主体的に活動できるように適切な援助や環境を整えていきたいです。
- グループごとに今日の活動をまとめてみて、写真や文字で表してみると、遊びの内容がよく分かり、子ども達の遊びや身についていることもより明確になったので、ドキュメンテーションのように保育をまとめて、振り返ることは大切だと改めて感じました。
- 比延こども園さんのイキイキとした保育を通して、瀧川先生の丁寧に読み取る保育が分かりやすく、10の姿を意識しながら保育をしていくとさらに深みのある子ども達の活動力や思いに寄りそうことになっていくのだろうなと思いました。
- 今日の公開保育を見て、今後の保育に参考になると感じました。子どもが主体的にイキイキ活動し、「やってみよう」と挑戦する姿が見られました。環境を整え、子ども達がのびのび生活し、過ごせるように保育者同士が改めて連携をとることが大切だと感じました。
- 子どもが主体となって、やってみたい事を十分に実現できるように、保育者は個々の子どもに対する深い理解と、それに適した環境構成が必要なのだと改めて感じました。
- 子どもが好きなことを追及してどんどん好きになっていろんな経験をすることが幼児期にはとても大切なことであり、その学びが小学校への学びの姿勢につながるのだと学びました。
- 自園以外の園での保育の様子を見せてもらえる機会はあまりないので『この遊び取り入れてみたい!』と思ったこともあれば、『こんな場面、こうかかわったらどうなるだろう…』と客観的に物事を見ることができた場面もありました。他の保育者の意見や思いが聞けたのもいい機会になりました。

公開保育園の感想

- 子どもの姿を日々丁寧に見て、どんなことに興味をもつのか、どんな遊びが好きなのかをしっかりと理解し、保育に取り入れていけるようにしたいです。
- 公開保育の後に、振り返りのように研修内容と合わせて受けることができたので、保育の反省、評価を行いながら学ぶことができて良かったです。
- 今回の研修では、「集団」「個々」というワードがたくさん出てきました。集団で生活をする場ではありますが、個々の願いや思いを大切に、一人一人に合った保育をしていかなければならないのだと思いました。
- 子どもの気づきや発見をどのように深い学びにつなげていくのが大切だと思いました。見守るだけでなく、ここだというタイミングで言葉をかけたり、提案することでより良い展開ができるようにしたいと思いました。そのためにも自分の感覚を柔らかくしておきたいと思いました。
- 子どもの探究心や好奇心を引き出すために保育者の知識もとても重要になることや、子どもの発見に保育者は答えを伝えるか見極めることが大切など、判断や知識など保育者に求められる多くのことを学びました。『共主体』を教えていただいたので、保育をする上で意識していきたいと思います。
- 今回の研修で、子どものトキメキを遊びに取り入れる重要性を再確認することができました。遊びに取り入れるようにするには、日頃から子どもの様子をしっかりと見て、観察して考えることが大切だと思うので、これからも日々考え、子どもと接していきたいと思います。
- 日々保育をしながら、どんなヒラメキ、気づき、発見できたトキメキがあるのかを大切にしたいと思いました。ドキュメンテーションの書き方や年齢に応じた保育、指導案を作っていく上でのポイントも学ぶことができました。
- 子ども達の小さな発見、大きな発見に気づけるように言葉に耳を傾けたいです。小学校との接続も大事であり、深い学びができるように意識したい。集団で生活する場で、個々としても、お互いかけがえのない存在として大切にできるように心がけたい。
- 年齢に合った5領域の視点や環境作りなど、どの点に気をつけて作ったらいいか詳しく学ぶことができて良かったです。また、主体的、対話的で深い学びの事例をじっくり考える時間があり、答えを教えることが子どものためになるのではなく、気づかせ、考えさせ、学ぶという流れを作ってあげる環境が大切なことだと知り、今後いかしていけたらなと思いました。